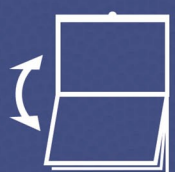


下関市各種ハザードマップ収納用ポケット
下関市が発行するその他のハザードマップ(土砂災害・高潮・洪水など)を収納できます。
(地区によっては警戒区域外のため配布していないハザードマップもあります。)



壁掛け式【保存版】
壁に掛けてご利用いただけます。

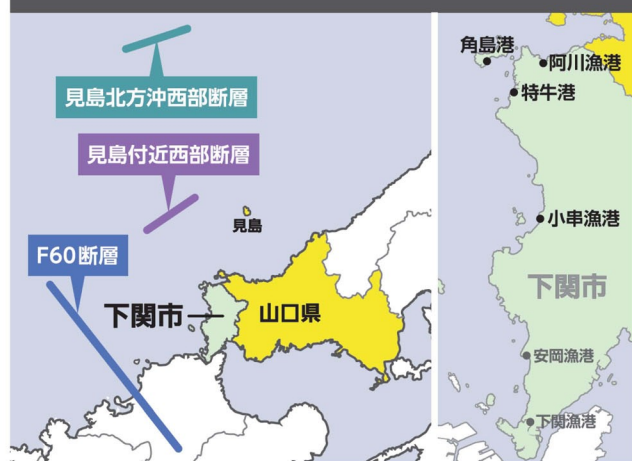
豊浦・豊北地区
下関市
津波ハザードマップ
Shimonoseki-city Tsunami Hazard Map
日本海側【想定震源地：F60断層・見島付近西部断層・見島北方沖西部断層】



下関市で想定される津波について【日本海側（豊浦・豊北地区）】

山口県内において、大きな津波被害をもたらす地震として、南海トラフを震源とする巨大地震とは別に日本海側に位置する断層群を震源とする地震があります。

山口県の日本海側にある3つの主要な地震源



沿岸部において津波の影響が出るまでの想定時間



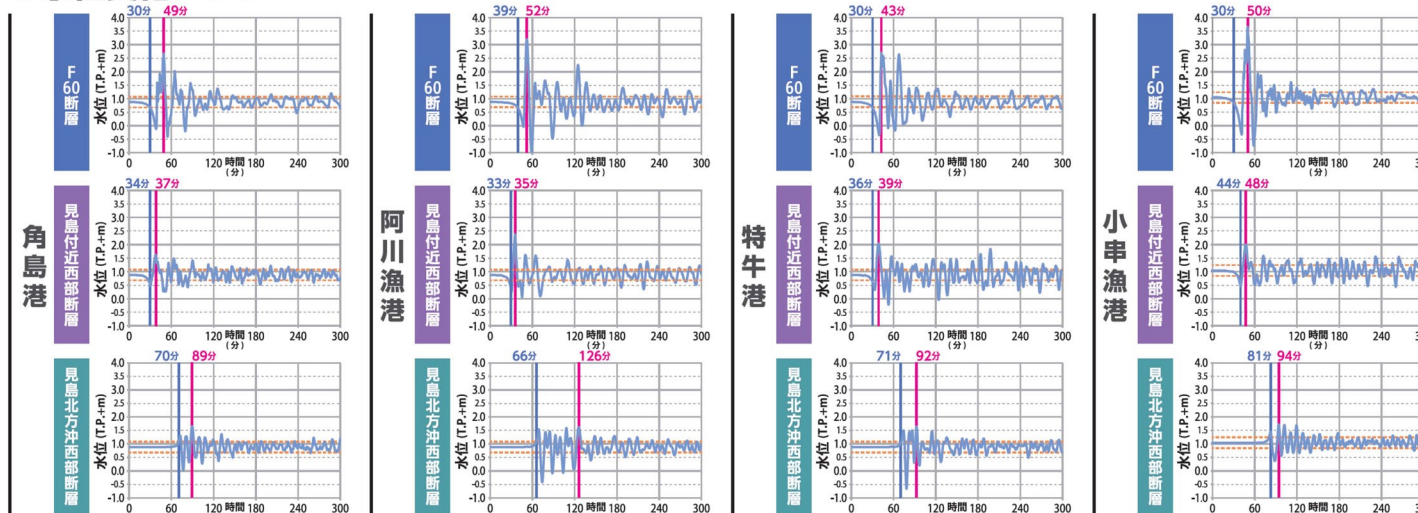
各港湾・漁港区域内の代表地点（背後に家屋等の多い地点）のデータ
（第10回山口県地震・津波防災対策検討委員会）

山口県のホームページでは、地震発生後の津波の動きや到達時間を分かりやすく示すため、南海トラフの巨大地震及び周防灘断層群主部の地震による津波の動画が公開されています。
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10900/bousai/tsunami-douga.html>

震源想定	代表地点	影響開始時間 ※初期潮位から±20cmの水位変化			到達開始時間 ※第一波が最大波になるとは限りません。			津波の高さ
		F60断層	見島付近西部断層	見島北方沖西部断層	F60断層	見島付近西部断層	見島北方沖西部断層	
F60断層	角島港	30分後	34分後	70分後	49分後	37分後	89分後	2.7m うち津波の高さ ※1 1.8m ※2
	阿川漁港	39分後	33分後	66分後	52分後	35分後	126分後	3.2m うち津波の高さ ※1 2.3m ※2
	特牛港	30分後	36分後	71分後	43分後	39分後	92分後	2.7m うち津波の高さ ※1 1.8m ※2
見島付近西部断層	小串漁港	30分後	44分後	81分後	50分後	48分後	94分後	3.7m うち津波の高さ ※1 2.6m ※2

※1 海抜ゼロメートルからの高さ ※2 朔望平均満潮位(T.P.) 角島港0.88m, 阿川漁港0.88m, 特牛港0.88m, 小串漁港1.04m からの高さ

●水位変化グラフ

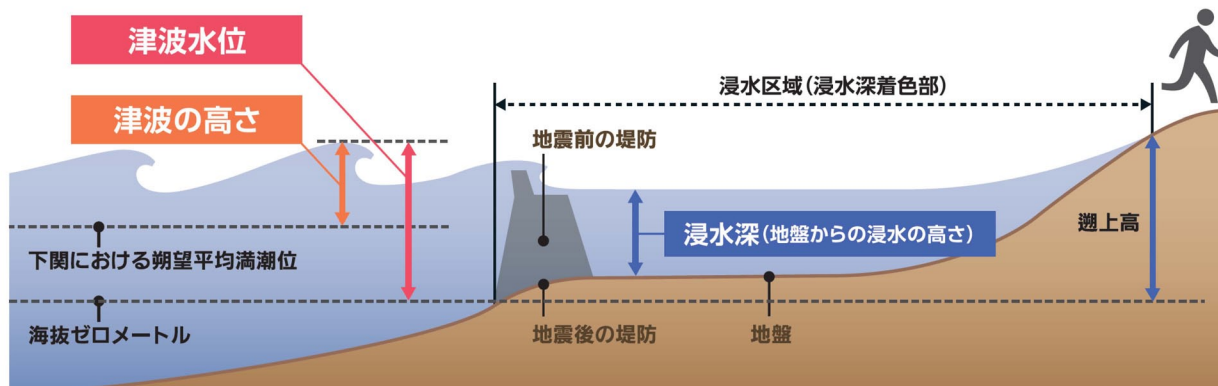


ハザードマップの浸水想定について

このハザードマップに記載された浸水想定区域や浸水の深さは、山口県津波浸水想定の内容を反映したものです。山口県では、発生すると甚大な被害を及ぼす「F60断層」、「見島付近西部断層」、「見島北方沖西部断層」による津波を想定し、次のような条件を設定したうえでこの想定を行っています。

条件1 朔望平均満潮位の時に巨大津波が発生

条件2 堤防や防波堤は破壊され機能しない



津波水位

海岸線から沖合約30m地点における津波の水位のこと。海抜(T.P.)で表示しています。

津波の高さ

津波により実際に上昇した海面の高さのこと。

浸水深

浸水域の水面から地面までの高さ。ハザードマップには各地点で想定される最大の浸水深を表示しています。

海抜ゼロメートル

東京湾の代表地点における平均潮位の海面の高さ。海抜の基準となる。
【海抜ゼロメートル=東京湾平均海面(T.P.)】

海抜

T.P.(東京湾平均海面)からの高さのこと。

朔望平均満潮位

朔(新月)および望(満月)の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値。

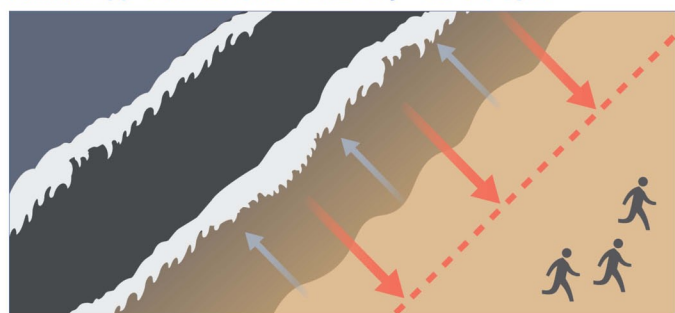
遡上高

海岸から内陸へ津波が駆け上がった高さ。

津波の特徴

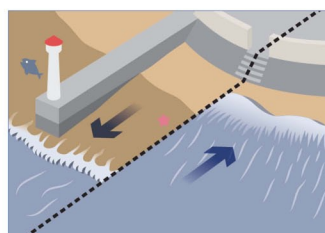
津波はいくつかの特徴を持った災害です。想像よりも凄まじい力を津波は持っています。津波の特徴を知り、いざという時のために準備をしましょう。

津波は繰り返し来ること、より内陸へ



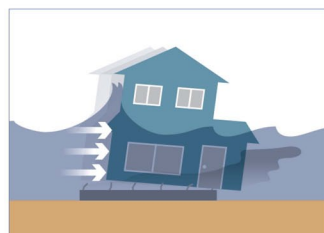
●第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があり、より内陸まで津波が押し寄せて来ることがあります。

津波のはじまりかた



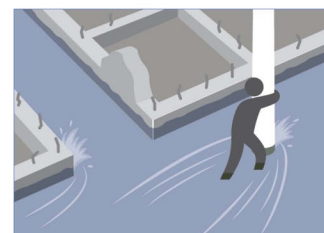
●津波は引き潮からはじまるとは限りません。

津波の威力



●1～2mある津波は家屋の全壊、流失する可能性があります。

引き波への注意



●引いていく波の破壊力もすさまじいです。陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。

警戒は長時間に



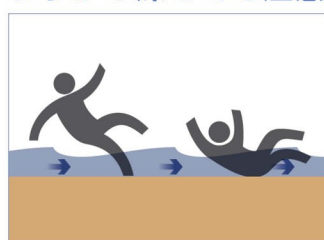
●津波は繰り返し襲って来ます。地震後6時間(最大12時間)は注意が必要です。

漂流物を巻き込む力



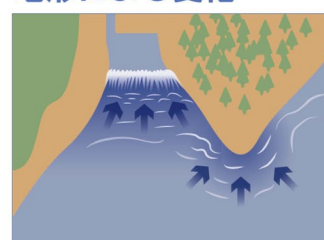
●津波はガレキなどの漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。

わずかな深さでも注意



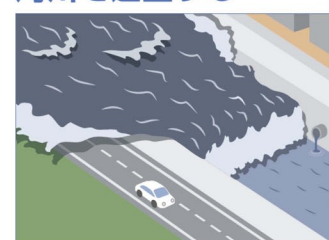
●20～30cm程度の津波でも立っていらなくなり、足をとられ波にさらわれます。

地形による変化



●岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。

河川を遡上する



●津波は川を遡上(遡上)、堤防を超えて陸地に津波が溢れます。※粟野川は、遡上を考慮しています。

津波から命を守るために

マップで自宅や家族に関する場所の浸水深を確認しましょう。
地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難をしましょう。

F60断層 巨大地震発生

マグニチュード
Mw7.6

下関市では最大
震度5強

気象庁より
緊急地震速報発表

立ってられない揺れです。

まず身の安全を確保しましょう！

- 机やテーブルの下へ隠れる
- 倒れてくる家具や、落下物に注意する。
- ドアや窓を少し開けて、逃げ道を作っておく。



■車にいた場合

- 車は道路の左脇へ寄せ、鍵はつけたままで避難する。



■船にいた場合

- 船は港に戻らずに沖合いへ避難する。



地震発生から
2-3分



気象庁より津波警報発表

- 地震発生から2～3分で津波情報が発表されます。注意報・警報が出たら冷静に行動し、避難してください。



大津波警報：3m<津波の高さ
津波警報：1m<津波の高さ≤3m
津波注意報：津波の高さ<1m

強い揺れがあるとき

沿岸部に津波の影響が出る前に・・・ 安全な場所に避難しましょう！

※角島港で30分後に影響が出る想定されています。

強い揺れがおさまったら・・・ 落ち着いて状況を把握しましょう！

- 長い1分以上の揺れがおさまったら、警報などの発表を待たずにすぐに避難する。
- 避難前は火元を消す。都市ガスは自動で元栓が閉まる場合があります。
- すぐ避難できるように靴を履いておく。
- 避難は、ガラスや瓦などの落下物に注意し、落ち着いて行動する。

●海へ行って見物してはいけません。津波が見えてからでは逃げられません。

津波の危険がある

津波の危険がない

住まいや職場、学校などに津波の危険はありますか？

激しい揺れがおさまって動けるようになってから

浸水区域には近づかないようにしましょう！

●避難所に行く必要がない



- 家族や近隣住民の安否確認を行う。



- 周囲と協力して救出／消火活動を行う。

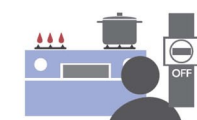
- 余震や津波など災害情報に注意する。
- ガラスの破片や転倒した家具などの片付けを行う。

●避難所に行く必要がある

一 避難所に行く5つの理由一

1. 「ガスの途絶」「断水」「トイレの使用不可」など「ライフラインの使用不可」
2. 「行政支援、情報・物資、人のいるところを求めて」など「情報・物資の要求」
3. 「高齢者・ケアが必要な家族の存在」
4. 「建物の安全性への不安」
5. 「余震が怖い」

「阪神・淡路大震災からの生活復興2005ー生活復興調査結果報告書ー」
京都大学防災研究所巨大災害研究センター（2006）より



- ブレーカーを切り、ガスの元栓を締める。



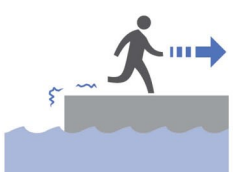
- 非常持出品を準備する。



- 災害時要配慮者の避難などに協力する。

すぐ逃げましょう！

揺れを感じなくても、注意報、警報が発表されたり、市からの避難指示・避難勧告が発令されたらすぐ避難！とにかく走って、戻らない！



- 小さな揺れでも要注意。まずは避難が最優先



- より早く、遠くへ、高い所へ避難



- 海岸や河川からはできるだけ遠ざかるように避難



- 持出品は取り出しやすい場所に保管する。



- 車で避難しない。渋滞を引き起こし、危険です。



- 津波てんでんこ「自分の命は自分の責任で守れ」

「てんでんこ」は「てんでんばらばらに」の意味で、「人にかまわず必死で逃げる」という三陸地方の教訓。緊急時に災害弱者（子ども・高齢者）を手助けする方法などは、地域であらかじめ話し合っておきましょう。

津波警報・注意報が解除されるまでは戻らないようにしましょう！

市が指定した浸水被害の無い避難所・避難場所、又は高台などに避難。



指定緊急避難場所、指定避難所（浸水区域外）



緊急避難所（浸水区域外）



指定緊急避難場所（浸水区域外）

- 近くに高台が無い場合は高い頑丈な建物など可能な限り高い所へ避難。
- 避難所・避難場所では最新の情報を収集する。

地震・津波の危険がなくなった
(津波警報・注意報の解除)

家に被害があり生活できない

家に被害がない



指定緊急避難場所、指定避難所での避難生活（浸水区域外）

地震発生から 数日



家にもどる

地区割

下関市の豊浦町・豊北町の沿岸部を9つのエリアに分けています。

表示エリア

下関市

豊北町

豊浦町

菊川町

長門市

豊田町

1, 2, 3-1, 3-2, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24

指定避難所リスト このリストは浸水区域外に位置する地図上に掲載された避難所になります。その他の災害状況によっては使用できないおそれがあります。

指定避難所リスト このリストは浸水区域外に位置する地図上に掲載された避難所になります。その他の災害状況によっては使用できないおそれがあります。

No	指定避難所	所在地	海拔	No	指定避難所	所在地	海拔	No	指定避難所	所在地	海拔
1	角島開発総合センター	豊北町大字角島字宮ノ脇1413-1	55.0	10	宇賀小学校	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	33.0	19	川棚小学校	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	6.4
2	角島小学校	豊北町大字角島字正ノ田1768	3.0	11	宇賀ふれあいセンター	豊浦町大字宇賀字ふけ4940	36.2	20	川棚公民館	豊浦町大字川棚字林崎6167-2	6.7
3	粟野公民館	豊北町大字粟野字妙見3333-2	14.0	12	大河内交流センター	豊浦町大字宇賀字下ノ屋敷5367-1	77.0	21	豊浦老人福祉センター	豊浦町大字川棚字道中江4892-1	30.0
4	粟野小学校	豊北町大字粟野字妙見3349	10.0	13	双葉保育園	豊浦町大字宇賀字川嶋2984-1	22.6	22	とんがりぼうし豊浦 (自然活用総合管理センター)	豊浦町大字川棚字前坪5262-1	26.0
5	阿川公民館	豊北町大字阿川字下宅野3752	3.1	14	小串小学校	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	10.6	23	豊洋中学校	豊浦町大字黒井字馬神724-1	4.4(室津)
6	阿川小学校	豊北町大字阿川字下宅野3755-1	2.1	15	夢が丘中学校	豊浦町大字小串字夢が丘145	9.0	24	室津小学校	豊浦町大字室津下字新田152-1	3.3
7	豊北生涯学習センター	豊北町大字神田1199-1	21.0	16	豊浦夢が丘スポーツセンター	豊浦町大字小串字夢が丘140	19.0				
8	神玉小学校	豊北町大字神田上字野中2704-1	16.0	17	響高等学校	豊浦町小串新宮15-1	9.0				
9	神玉公民館	豊北町大字神田上字野中2709	18.0	18	豊浦総合支援学校	豊浦町大字小串字石堂7-136	3.0				

日ごろから津波に備えておきましょう

このハザードマップは、津波から身を守るための様々な情報を記載しています。このマップを活用して家庭で話し合うなど、日ごろから備えておくことで、いざというときに家族がより安全に避難することができます。



下関市内の学校や公共施設などに標高表示板を設置しています。

下関市で想定される地震による津波の違い

日本海側（例：F60断層等）や瀬戸内海側（南海トラフ地震等）、それぞれを震源とする津波には、どのような違いがあるのでしょうか？

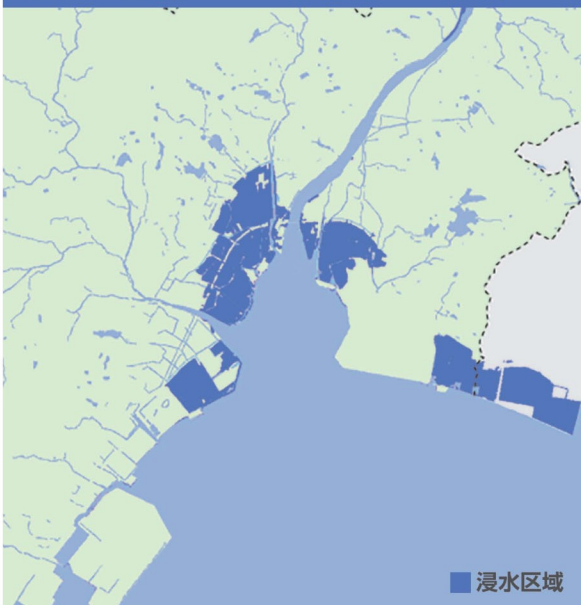
日本海側の地震と南海トラフ大地震との比較

	F60断層	南海トラフ地震
地震の大きさ マグニチュード	Mw7.6	Mw9.1
津波影響開始時間	30分後 角島港	1時間45分後 下関港（長府）
津波到達時間	41分後 角島港	4時間5分後 下関港（長府）
津波最大波の高さ	3.7m 小串漁港	3.8m 下関港（長府）
断層の活性間隔	千年～数千年	100～150年

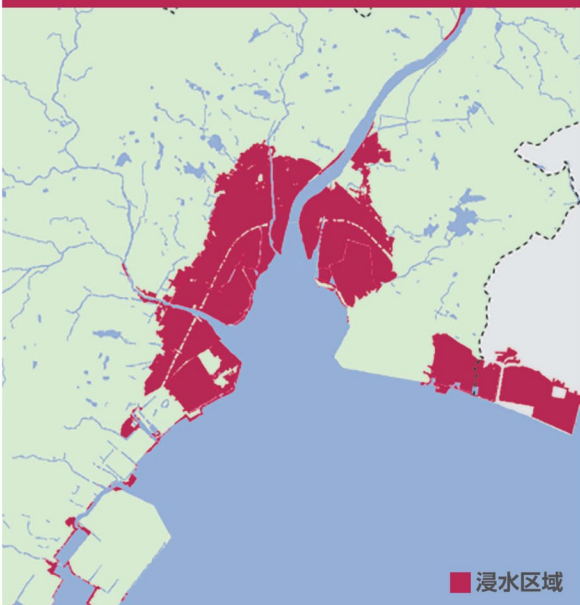
本庁管内における浸水エリア

本庁管内における日本海側（F60断層等）や瀬戸内海側（南海トラフ地震）を震源とする津波によって浸水する範囲が大きい地域もあり、震源地がどこであれ、浸水する地域は警戒が必要です。

●F60断層



●南海トラフ地震



東日本大震災の大津波

平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震とその後に到来した巨大津波は、宮城県石巻市にも大きな被害をもたらし、石巻市で3,000人を超える死者・行方不明者が発生しました。

写真：石巻市雄勝地区を襲った津波の瞬間 写真提供：石巻市秘書広報課



2011/03/11, 15:23:24
防波堤を超える津波

2011/03/11, 15:23:30
堤防を超えた津波が雄勝地区街中に流れ込んでくる。

2011/03/11, 15:23:45
左の写真の15秒後。津波に押し流された建物が道路に。

2011/03/11, 15:23:53
さらに8秒後。越流量が増え続け、様々なものが流される。

自宅などから近い避難所や連絡先を記入しておきましょう

家族（親戚・知人など）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考	家族（親戚・知人など）の名前	電話番号（会社・学校・携帯）	備考

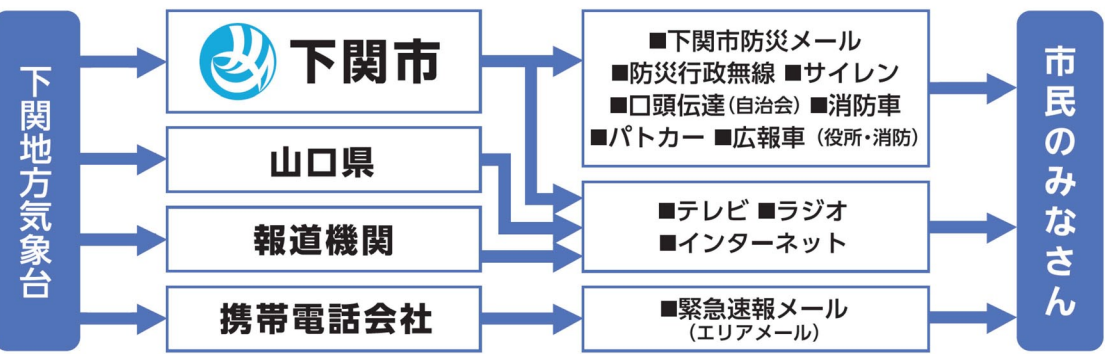
わが家の避難所	家族の集合場所	非常持出品の置き場所

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認することができます。

災害用伝言板（Web171）とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のことで、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから利用することができます。

<https://www.web171.jp>

■気象予報や津波警報等の伝達経路



さまざまな情報をもとに、市役所などの公共機関から避難などに関する情報が発信されます。最新の情報を入手し、安全に避難しましょう。

▶インターネット等による情報入手

下関市の避難所、津波に関する情報や気象、警報に関する情報は、インターネットやメール配信サービスからでも確認することができます。

下関市ホームページ	http://www.city.shimonoseki.lg.jp/
下関市防災メール	bousai-shimonoseki@xpressmail.jp（空メール送信）
山口県土木防災情報システム	http://y-bousai.pref.yamaguchi.jp/
山口県防災情報メール	regist@suibou.pref.yamaguchi.lg.jp（空メール送信）



下関市防災メール登録用QRコード

QRコードを携帯電話で読み取り、登録サイトへアクセス。読み取れない場合は、次のアドレスに空メールを送信してください。
bousai-shimonoseki@xpressmail.jp